

## 研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-290
研究課題名 重症筋無力症に対する胸腺摘出術後の症状悪化リスク因子の検討
研究期間 西暦 2014年 08月（倫理委員会承認後）～ 2016年 07月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 診療録、麻酔記録 ）
上記材料の採取期間 西暦 2002年 01月～ 2014年 07月
意義、目的 重症筋無力症患者の胸腺摘出術後の筋無力症症状の悪化はときに重篤であり、再挿管による人工呼吸管理を必要とする。本研究では、手術後の症状悪化のリスク因子について検討し、適切な麻酔管理について考察する。
方法 【デザイン】症例対照研究【対象】当院にて胸腺摘出術を受けた重症筋無力症患者全例。【方法】主要評価項目は術後の症状悪化とし、手術後に筋無力症症状の悪化をみとめ神経内科へのコンサルテーションが行われた症例と定義する。副次的評価項目として術後に人工呼吸を要した症例を評価する。解析は症状悪化のリスク因子を多変量ロジスティック解析から得られたオッズ比(OR)と 95%信頼区間(CI)で評価する。説明変数として性・年齢・BMI・病期分類・胸腺腫瘍有無・術前内服療法・術前特殊治療・術前クリーゼ・手術時間・出血量・筋弛緩薬投与・麻酔方法などを用い検討する。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学麻酔科医局 仙台市青葉区星陵町 1-1 022-717-7321 海法 悠、山内 正憲